

YOKOHAMA BUSINESS SCHOOL

横浜国立大学 大学院国際社会科学府
経営学専攻（博士課程前期）

横浜ビジネススクール
社会人専修コース

2026

出願期間

2025年

10月21日(火)

10月27日(月)

第1次選抜

学力検査／小論文

2025年11月15日(土)

第2次選抜

口述試験

2025年11月29日(土)





YBS

横浜ビジネススクール

YBSは、横浜という国際都市を拠点に多様なバックグラウンドを持つ社会人たちが集い、互いを刺激し合いながら成長できる活気あふれる学びの場です。

企業等での実務経験3年以上を有する方を対象に、経験豊富な教授陣による丁寧な指導のもと、イノベーション、サステナビリティ、ダイバーシティに関する最先端の経営理論など、現代ビジネスで求められる幅広い知識を習得できます。

少人数制ならではの活発なディスカッションを通じて、問題解決能力やコミュニケーション能力を向上させ現代の変化の激しい環境で活躍できるビジネスパーソンへと成長する場を提供します。

オンラインと対面のハイブリッド形式を採用し、時間や場所に縛られず、効率的に学習を進めることができます。



徹底した 少人数による 教育・研究

きめ細やかなサポートであなたのポテンシャルを最大限に引き出します。

ゼミ形式の「演習」において、各演習に対して教員2名が担当するという徹底的な少人数制と高い質を求めるモットーを基にあなたの経営課題にその場で答え、一人ひとりのペースに合わせて丁寧な指導を行います。少人数制だからこそできる、活発なディスカッションを通じて、多様な視点から問題解決能力を養います。2年間という時間を共にした教員やお互いを高めあった仲間との絆は、一生の財産となります。



経験豊富な 教授陣

教授陣は、常に最新のビジネストrendを踏まえた研究に精通しており、受講生に最先端の知識を提供します。また教授陣の多くは、企業経営やコンサルティングなど、様々な分野で実務経験を積んでいます。その経験と最新理論に基づいた講義やケーススタディを通じて、受講生は、理論だけでなく、実際のビジネスシーンで活かせる実践的な知識とスキルを習得できます。

仕事との 両立を考えた 柔軟な カリキュラム



忙しい社会人も 無理なく学べる

平日夜間は、ご自宅にしながらオンラインで気軽に授業を受講できます。土曜日は、緑豊かな常盤台キャンパスで対面授業やディスカッションに集中できるインタラクティブな環境をご用意。仕事と学業を両立したい社会人の方にとって、最適な学習スタイルです。

柔軟なセメスター制で、 あなたのペースで学びを

1年間で春・秋2学期制とし、各学期12週間で集中して学びを深めます。ご自身の都合に合わせて、無理なく学習計画を立てられます。

2026 Timetable

曜 日	午前 9:50 ~ 12:00	午後 13:00 ~ 15:10 15:20 ~ 18:00	夜間 18:50 ~ 21:00
月～金	_____	_____	オンライン講義
土	対面講義	対面講義	_____
日			



現代のビジネス課題に即した 演習テーマの設定

YBS では、毎年度 2 つの演習テーマを設定しています。これらテーマは、企業が直面する最先端の課題を反映しています。2 年間の演習期間中、各テーマに精通した教員のもとで深く学びを深め、受講者が将来のビジネスリーダーとして活躍するために必要な知識とスキルを習得できる、充実したプログラムになっています。



プロジェクト報告会（最終試験）

1 年次

春 学期

指導教員による特定研究
テーマの指示・指導
（ワークショップ演習）

秋 学期

プロジェクト演習Ⅰにて
特定課題研究計画の指導

2 年次

春 学期

プロジェクト演習Ⅱにて
特定課題研究計画の指導

秋 学期

プロジェクト演習Ⅲにて
特定課題論文の作成

11 月

特定課題論文名を申請

2 月

特定課題論文の提出

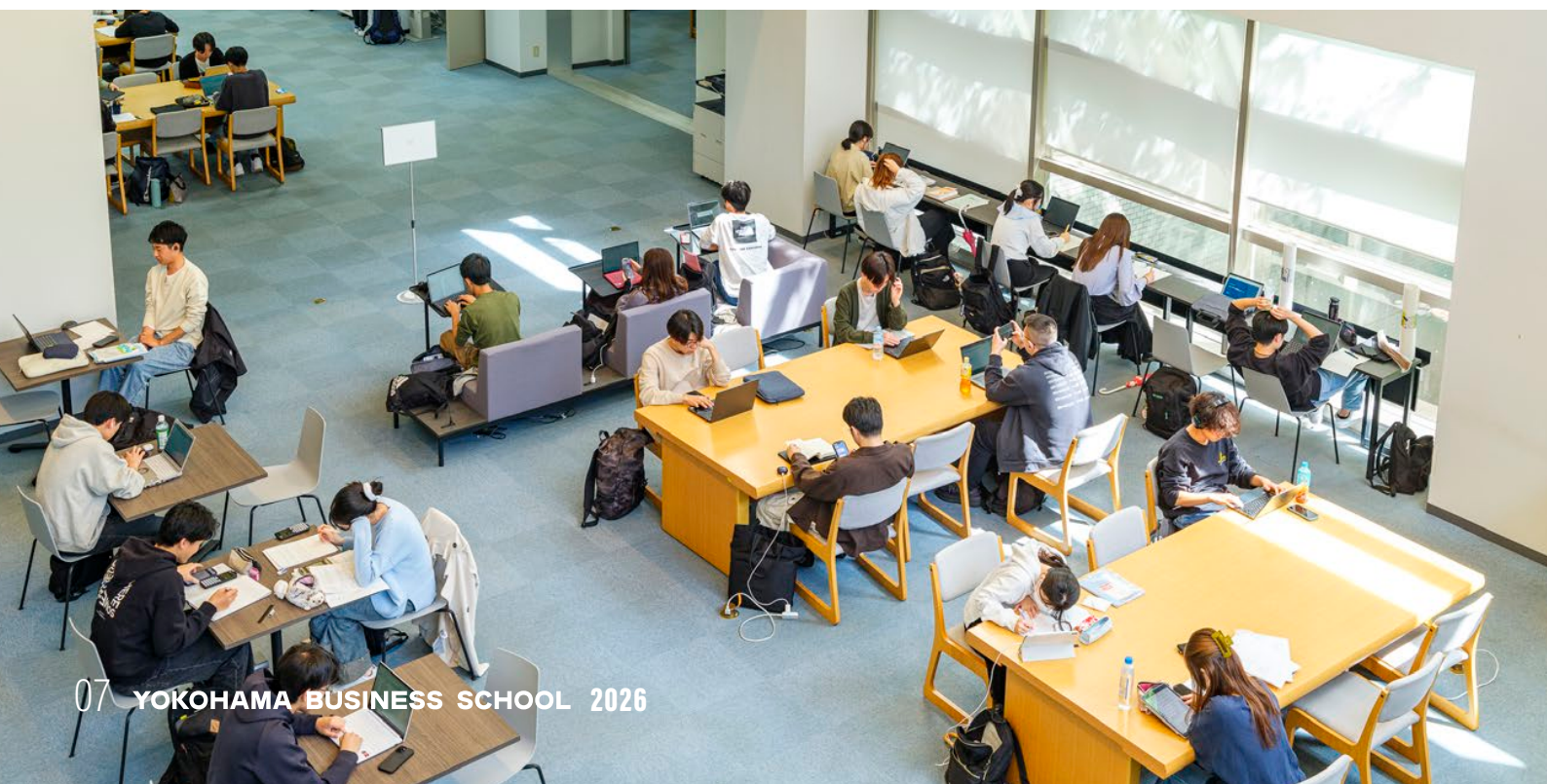
3 月

プロジェクト報告会にて
発表（最終試験）

過去の演習テーマ一覧

年 度	テ マ マ	担当教員
2025 年度	サステナビリティとイノベーション：組織・戦略の評価と再設計	大森 明教授／河野 英子教授
	ビジネス・インキュベーションによる企業成長：マーケティングとアカウントティングからのアプローチ	鶴見 裕之教授／君島美葵子教授
2024 年度	持続的な競争優位のための戦略と組織変革	高井 文子教授／山岡 徹教授
	社会課題解決に向けた価値共創 ー不確実性の時代におけるビジネスシステム	大雄 智教授／竹内 竜介教授
2023 年度	イノベーションの普及戦略	真鍋 誠司教授／横澤 公道准教授
	日本式オペレーションの再考察	倉田 久教授／鈴木 定省教授
2022 年度	企業のダイバーシティ&インクルージョン（D&I）戦略：人的資源管理論（HRM）と組織行動論（OB）からのアプローチ	二神 枝保教授／佐々木秀綱准教授
	サステナビリティ時代における価値創造戦略とコミュニケーション	大森 明教授／高橋 賢教授
2021 年度	社会的課題とイノベーション：組織・戦略の再定義	河野 英子教授／大沼 雅也准教授
	デジタル変革とビジネス価値～認識科学と設計科学の統合	田名部元成教授／高須 悠介准教授
2020 年度	革新のための組織と戦略ーICT時代の処方箋を探る	山岡 徹教授／谷地 弘安教授
	価値創造ストーリーの実現に向けたリスクマネジメント	前山 政之教授／大雄 智教授
2019 年度	グローバル・ビジネスの戦略とコントロール：その進化と展望	竹内 竜介准教授／中村 博之教授
	消費者行動とマーケティング戦略 ー行動科学&経済学によるデュアルアプローチ	寺本 高准教授／森田 洋教授

※ 職名は当時



高品質な教育を 経済的に実現



Brush up Program
for professional

国立大学法人の特長である低廉な入学金・授業料に加え、文部科学大臣認定の『職業実践力育成プログラム (BP)』として、専門性の高い実践教育を展開。最大 70% の教育訓練給付金が利用可能で、2 年間で約 40 万円という費用で、質の高い教育を受けることができます。

費 目	初年度	2 年目	2 年間合計	教育訓練給付金 支給額 (最大)	自己負担額
入 学 料	282,000 円	—————	282,000 円	—————	—————
授 業 料	535,800 円	535,800 円	1,071,600 円	—————	—————
合 計	817,800 円	535,800 円	1,353,600 円	947,520 円 (注 1・2)	406,080 円

注 1：ただし、奨学金の給付や授業料等の免除によって支給額は異なります。給付金の申請手続きはご自身で行う必要があります。
受給資格や給付の条件については、お近くのハローワークでご確認ください。

注 2：令和 6 年 10 月 1 日以降に受講を開始する方には、訓練修了後の賃金が受講開始前の賃金と比較して 5% 以上上昇した場合は、教育訓練経費の 10% (年間上限 8 万円) が追加で支給されます。



2026年度 演習テーマ

2026年度も魅力のある2つのテーマで
学生を募集しております。



演習 A

データドリブン経営の視点と実践

佐々木 秀綱



本橋 永至



本演習では、データを活用して経営課題を発見・解決する力を養い、データドリブン経営を先導できる人材の育成を目指します。VUCAと呼ばれる不確実性の高い時代において、勘と経験に頼る経営には限界があり、データに基づいた意思決定が不可欠です。近年、生成AIの急速な発展により、企業のデータ活用のあり方も大きく変化しています。膨大な情報の要約、洞察の抽出、仮説の生成といった場面で、AIは経営判断を補完・加速する存在となりつつあります。本演習では、統計学やデータサイエンスの基礎を学びながら、実際のデータ分析や研究活動に取り組みます。その中で、目的に応じた手法を用いてデータを正確に扱う“分析力”と、得られた結果の背景や因果関係を読み解き、経営上の意味を引き出す“洞察力”の双方を養成します。AIと人間の知見を融合し、現場を理解しながらデータに基づいて考え行動できる、次代の経営プロフェッショナルの育成を目指します。



2026 年度 演習テーマ

演習 B

次世代テクノロジーとビジネス戦略

谷地 弘安



田名部 元成



近年、生成 AI の本格的なビジネス活用が進展し、メタバースやブロックチェーン技術をはじめとする次世代テクノロジーも、徐々に実務の現場へと浸透しつつあります。AIを活用したデジタルトランスフォーメーション（DX）戦略やデータドリブン経営の実現可能性が高まるなか、これらの技術を既存の組織やビジネスプロセスに対してどのように適用していくか、ひいてはどのように新たな事業創出へとつなげていくか。現代の企業経営における喫緊課題となっています。このテーマは実務界、学界いずれにおいても未踏の領域です。2年間にわたり、経営情報システムとマーケティングを専門とするふたりの指導教員と参加者が深い議論を重ね、学術知と実践知を融合させ多様な研究方法を用いた分析を通じて、現場で活用可能な課題解決の手法や価値創造のための新たな知の創出を目指します。

講義 科目

少人数制の活発なディスカッションを通じて、ビジネスの根幹を支える力を養成。戦略、組織、マーケティングなどの講義を通じ、企業の成長に不可欠な知識とスキルを習得し、変化の激しいビジネス環境に対応できる実践的な思考力を身につけます。当スクールでは、理論と実践のギャップを埋めることを重視。学んだことを即戦力に変え、企業の成長戦略を策定し、実行するための力を養います。また、実践から新しいビジネスモデルを創出し、イノベーションを牽引する人材育成を目指します。1年生2年生や、他の演習に所属する学生と交流する場ともなっているのが講義科目です。



リサーチ・メソッド

戦略マネジメント

経営組織

技術マネジメント

マーケティング・マネジメント

ヒューマンリソース・マネジメント

グローバル・マネジメント

マーケティング・アナリティクス

ファイナンス論

特殊講義 M&A

特殊講義

(Global Joint MBA Intensive Program)

特殊講義

(Shanghai Study Visit [Business and Economy in China])

特殊講義 (標準化とビジネス)

管理会計

財務会計

サステナビリティ・マネジメント

アカウンティング

企業財務

ビジネス統計学

組織変革

マネジメントと社会

オペレーションズ・マネジメント

ビジネス・シミュレーション

国際会計

経営史

過去に開講した授業内容です。
次年度以降、教員・概要の変更
や開講しない科目となる場合
があります。

在学生の声

2024年入学 安間 伸一

所属：AGC 株式会社

演習 A テーマ

「持続的な競争優位のための戦略と組織変革」



ビジネススクールに進学した理由は？

業界・業態の枠を越えた幅広い経営学を体系的に学ぶことで、変化の激しい時代においても社会・会社の持続的な成長に貢献できる人材になりたいと考えたからです。

YBS を選んだ決め手は？

少人数制であり充実した指導を受けられることが決め手でした。また私の家庭は共働きで小さい子供が二人いるため、平日夜の講義をオンラインで受講できることは魅力的でした。

どのように勉強に取り組んでいますか？

講義・ゼミでは多くの課題が出るので、各課題の期日や優先度を確認しながら、計画的に進めています。

演習の雰囲気はどうですか？

ゼミでは毎回2～3人が自身の研究の進捗について報告します。指導教員の先生からの的確なアドバイスをいただけることに加えて、様々なバックグラウンドを持つ同期生からも多様なコメントをもらえるのでとても参考になります。

役に立ったところは？

業界や職種が異なる同級生とのディスカッションを通じて、前提となる知識や見る角度が違っていると同一物事でも見え方が大きく異なるということを学ぶことが出来ました。

どんな仲間たちと学んでいますか？

同級生には年代も業界も多様なメンバーが集まっているので、懇親会では毎回興味深いお話をたくさん聞くことができ、つい時間を忘れて話し込んでしまいます。

入学してよかったですか？

入学して良かったと感じています。講義やゼミを通じて多面的な視点を身に付けたことにより世の中で起きている出来事一つ一つの理解が深まり、社会の見え方が変わりました。



在学生の声

2024 年入学 篠田 歩

所 属：神奈川県庁

演習 B テーマ

「社会課題解決に向けた価値共創」

ビジネススクールに進学した理由は？

産学公連携や研究・企業支援の業務に携わる中で、自らも研究や企業活動について学びたくなり受験を考えました。

YBS を選んだ決め手は？

業務で連携していて、学際的に様々な研究者が活躍するこの大学に魅力を感じており、仲間に加わりたと思っていました。いわゆるビジネススクールと比べ学術的な意義を重視しているところも良かったです。演習のテーマも自分の課題感に合致していて入るしかないと決めました。

どのように勉強に取り組んでいますか？

子どもが小さいので夜間や早朝に時間を作っています。課題や授業の予習・復習も必要ですが、自分のテーマの追求に最も時間を割いています。

演習の雰囲気はどうですか？

それぞれの立場や専門性を活かして闊達に意見を交わしています。他者の研究テーマも自分事で考え、一つの研究チームのような一体感があります。

役に立ったところは？

問題意識から仮説を見出し、実現可能な検証方法を探る。結果がどのように理論化され、社会（実務）にどのような影響を与えるかまで考える。こうした研究のプロセスは、政策の実行或いはビジネスにも通じ、大いに活かせるところがあると感じます。

どんな仲間たちと学んでいますか？

立場も業界もバラバラですが、経験豊富で話していていつも刺激をもらっています。私より年上の先輩方が多いですが、同じ目線で接してくれる懐の深い方ばかりです。

入学してよかったですか？

一生ここで学びたいと思うほど素晴らしい日々を過ごしています。教員の皆さんはもちろん、先輩や後輩、OBの方々も含めて繋がり強い、素晴らしい雰囲気のYBSの一員になれたことを嬉しく思っています。

YBS 生在職企業 (令和3年～令和7年入学者)

株式会社 AOKI
味の素ファインテクノ株式会社
Apple Japan 合同会社
アマゾンウェブサービスジャパン合同会社
いすゞ自動車
インベンセンス合同会社
Wismettac フーズ株式会社
AGC 株式会社
NEC ソリューションイノベーション株式会社
株式会社快活フロンティア
加賀電子株式会社
カゴメ株式会社
神奈川県庁
株式会社キティー
キヤノン株式会社
クインテラル株式会社
株式会社クニエ
グラナトリバーラボジャパン株式会社
グリーホールディングス株式会社
グロブシップ・ソデクソ・コーポレートサービス株式会社
経済産業省
一般財団法人建設業振興基金
独立行政法人国際協力機構

コンチネンタル・オートモーティブ株式会社
佐川グローバルロジスティクス株式会社
株式会社ジードット
JFE エンジニアリング株式会社
塩野義製薬株式会社
芝浦メカトロニクス株式会社
株式会社 SHIFT
株式会社レゾナック
積水化学工業株式会社
全日本空輸株式会社
ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社
SOMPO ケア株式会社
第一三共株式会社
株式会社大栄トラベル東京
株式会社ダイセル
高砂香料工業株式会社
武田薬品工業株式会社
株式会社テナアダム
東京海上日動火災保険株式会社
東京瓦斯株式会社
日産自動車株式会社
日本電気株式会社
日本飛行機株式会社

公益社団法人日本プロサッカーリーグ
株式会社日本メディックス
日本モレックス合同会社
株式会社日本旅行
株式会社日立製作所
富士通株式会社
PayPay 株式会社
ボーラ化成工業株式会社
マクニカホールディングス株式会社
マルハニチロ株式会社
株式会社みずほフィナンシャルグループ
三菱自動車工業株式会社
三菱重工業株式会社
三菱電機株式会社
三菱マテリアル株式会社
ミネベアミツミ株式会社
ヤマハ株式会社
株式会社横浜銀行
横浜市
LINE ヤフー株式会社
株式会社リクルートマネジメントソリューションズ
ロゼット株式会社

(五十音順)

※ 企業等名称は在学時などを参照しており、変更されている場合があります。

概 要

- [学 校 名] 国立大学法人横浜国立大学
- [課 程 名] 大学院国際社会科学府
経営学専攻(博士課程前期)
社会人専修コース
- [所 在 地] 神奈川県横浜市保土ヶ谷区
常盤台 79-4
- [入学定員] 20 名
- [修了要件] 2 年以上在学し、所定の単位
32 単位(講義科目 20 単位以上、
演習 12 単位以上)を修得し、
特定課題論文の審査及び最終
試験に合格すること。
- [取得学位] 修士(経営学)

学生募集概要

- [入学者に求める知識や能力・水準]
 - ・ 経営学領域及びその関連領域に関する基礎的な知識
 - ・ 経営事象に関する基礎的な説明能力
- [出 願 資 格]
 - ・ 大学学部卒業以上(それ以外の方は資格審査を行います)
 - ・ 本学入学までに 3 年以上の実務経験のある方
- [出 願 期 間] 10 月
- [選抜方法等] 11 月
 - ・ 第 1 次選抜：書類選考 & 筆記試験
↓ 合 格
 - ・ 第 2 次選抜：口述試験



YOKOHAMA BUSINESS SCHOOL 2026

YNU
横浜国立大学

横浜国立大学 社会科学系事務部 大学院学務係

Tel: 045-339-3684

Email: int.gakumu-all@ynu.ac.jp

<https://www.b.ynu.ac.jp/ybs/index.html>

